

## 蒲郡南地区 かわら版 第3号

# 蒲郡南地区 まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

蒲郡市では、今後の人口減少・少子高齢化が進む社会情勢を見据え、公共施設の維持更新費用で将来に大きな負担を残さないため「身の丈にあった」施設保有量に適正化していく取り組みを進めています。

そこで今年度、蒲郡南地区（蒲郡中学校区）では、地区内の公共施設（小学校・中学校・保育園・児童館・公民館）の将来のあり方について皆さまに考えていただく機会として「まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ」を開催しています。今回は10月7日（日）に蒲郡中学校にて行われた第3回ワークショップの様子をお伝えします。

また、ワークショップで話し合われている内容等についてご意見を募集しています。いただいたご意見は、ワークショップ参加者の皆さんと共有し、検討を進めていきます。（裏面の「ご意見募集」をご覧ください。）

## 検討の進め方

蒲郡市は、このワークショップでのご意見をはじめ、地区の皆さまのご意見を踏まえて、蒲郡南地区の将来の公共施設の配置や活用方法を示す「地区個別計画」の検討を進めています。第3回ワークショップでは、前回までのご意見を踏まえて作成した「施設の再配置プラン」について意見交換を行いました。



10/7開催

### 第3回ワークショップ

各再配置プランの期待できることや不安なこと、さらに良くするにはどうしたらよいかなど、6～7人のグループに分かれて意見交換を行いました。



次回のワークショップでは、各プランを評価・比較するための指標について検討を行う予定です。

## 再配置プランの考え方

第2回ワークショップまでの検討内容をもとに、地区の課題の解決策を12個の項目として整理しました。これらを活用して、コンセプトの異なるA～Dの4つの再配置プラン案を作成しました。

すべての課題を満足に解決する案を作成することは困難ですが、複数のプランを比較しながら、より多くの課題を解決する再配置プランはどういったものか、検討していく必要があります。

### 再配置を通じた解決策

- ① 若い世代が集まれる場所の整備
- ② 公民館機能とその他機能の関係強化
- ③ 学校の統合
- ④ 子育て関連機能の集合
- ⑤ 小学校内への児童クラブの設置
- ⑥ 高齢者が活躍できる場の整備
- ⑦ 津波・高潮からの安全確保
- ⑧ 避難所・避難場所の適正配置
- ⑨ 徒歩でアクセスしやすい施設配置
- ⑩ 十分な駐車スペースの確保
- ⑪ 施設数の縮減
- ⑫ 費用対効果の高い移転先の選定

### 再配置プラン案

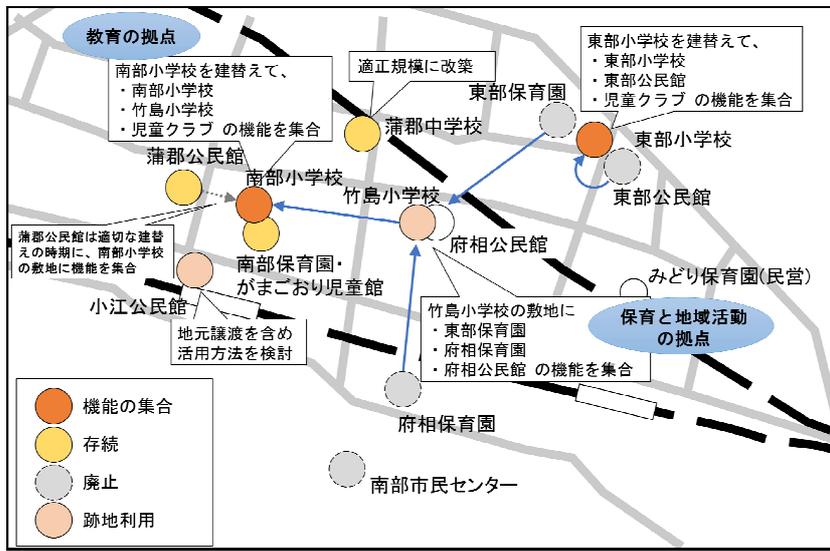
- |    |                                    |
|----|------------------------------------|
| A案 | 学校規模を維持し教育の拠点と子育ての拠点をつくるプラン        |
| B案 | 学校と地域の連携の拠点と多様な活動が行える子育ての拠点をつくるプラン |
| C案 | 徒歩でのアクセスを維持するプラン①                  |
| D案 | 徒歩でのアクセスを維持するプラン②                  |

※ 矢印は、解決策のうち特に重視した解決策と再配置プランとの関係性を表しています。

# 4つの再配置プラン案についての議論内容

第3回ワークショップでは、これまでワークショップでいただいた意見をもとに作成した4つの再配置プラン案について議論しました。それぞれの案について、期待されること、懸念されること等のご意見をいただきました。なお、実際の施設整備は施設の老朽化具合や他地区・他施設の計画等を踏まえ、段階的に行っていくこととなります。(○：期待 ●：懸念)

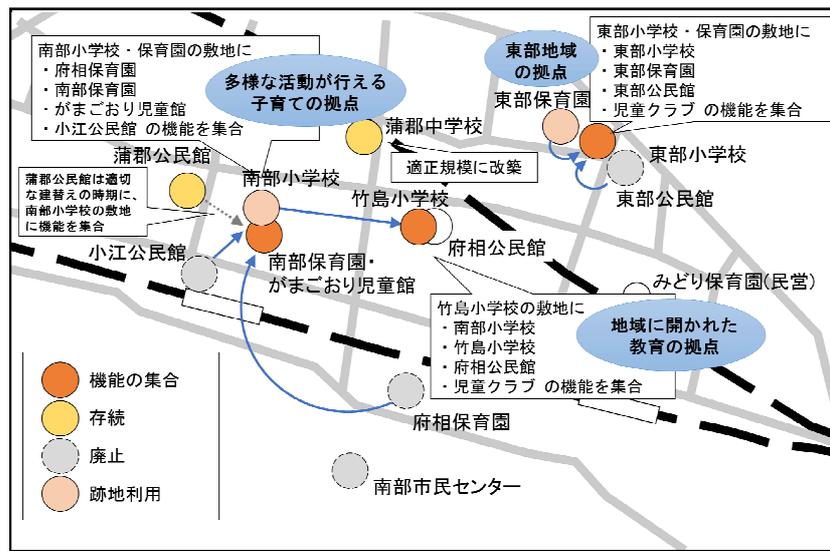
## A 学校規模を維持し、教育の拠点と子育ての拠点をつくるプラン



### 【議論の内容】

- 竹島小学校の跡地が活用でき、保育園・公民館に駐車場を整備できるだろう。+αで子育て支援につながる機能を入れられるとよい。
- 児童クラブと小学校が同じ敷地にあるほうが、子どもの移動の負担がない。(全案共通)
- 東部保育園を竹島小学校の敷地に移すと、学区が異なってしまい、小学校と保育園の両方に子どもを通わせる保護者は送迎等大変だ。
- 前提条件である府相公民館の竹島小学校への移転について、「地域と学校の連携」など公共施設再編のモデルケースになればと期待していたが、(竹島小学校が移転してしまう)それが解消されてしまう。

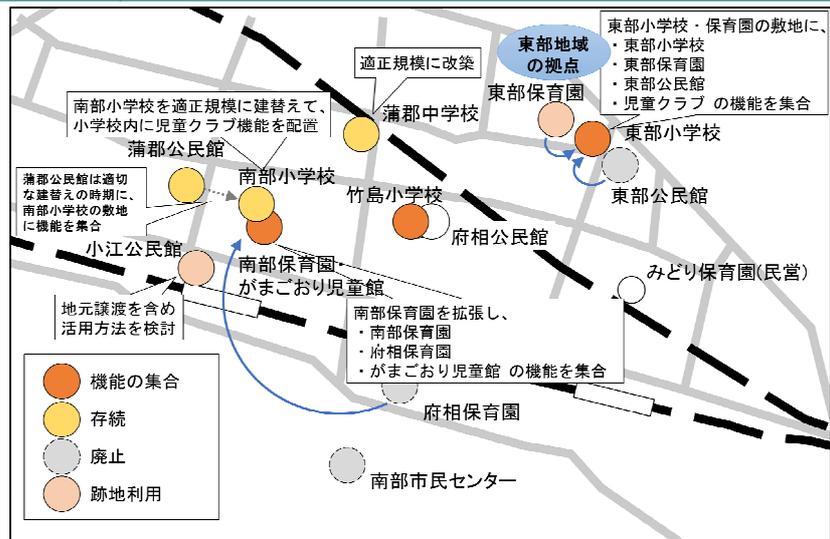
## B 学校と地域の連携の拠点と多様な活動が行える子育ての拠点をつくるプラン



### 【議論の内容】

- 蒲郡東部小学校・東部保育園・東部公民館はもともと近距離で東部地域としてまとまっている。機能を集めることで便利になると思う。(B・C・D案共通)
- 小学校の統合は、公共施設面積縮減や部活動などの教育環境維持の観点からも必要だと思う。(A・B案共通)
- 府相保育園の園児の多くは竹島小学校区に住んでいるので、保育園が南部保育園に移転するのは、(今の学区の外になってしまい、さらに小学校と保育園が離れてしまうので)保護者の送迎の負担が増えてしまい良くない。(B・C案共通)

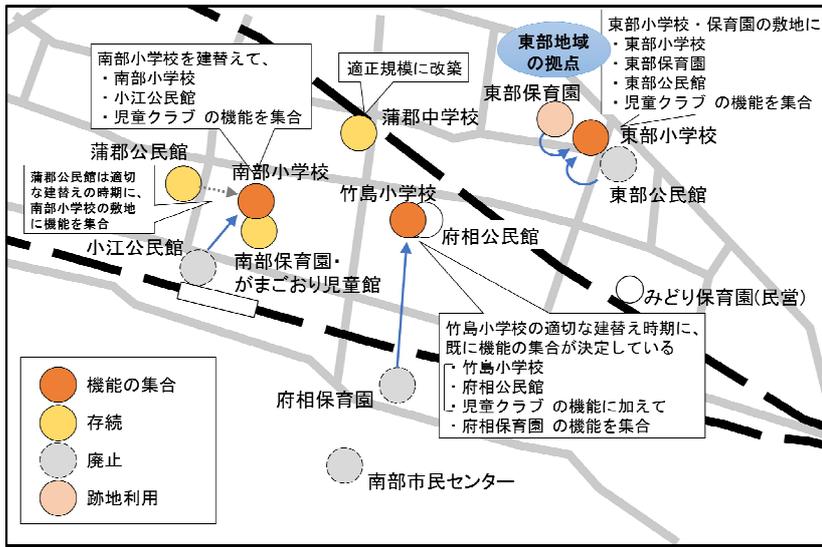
## C 徒歩でのアクセスを維持するプラン①



### 【議論の内容】

- 小学校を統合しない案は、通学面では児童の負担がなく、学区と行政区についても大きな変更が生じないため、地域の負担もなくてよい。(C・D案共通)
- 蒲郡東部小学校・東部保育園・東部公民館はもともと近距離で東部地域としてまとまっている。機能を集めることで便利になると思う。(B・C・D案共通)
- 公共施設の保有量を適正量にしていくという観点からは、小学校の統合が必要である。(C・D案共通)

## D 徒歩でのアクセスを維持するプラン②



### 【議論の内容】

- 府相保育園の園児の多くは、竹島小学校区内に住んでいるので、竹島小学校に保育園の機能が集合するのは、保護者の送迎などの負担が少なくてよい。
- 蒲郡東部小学校・東部保育園・東部公民館はもともと近距離で東部地域としてまとまっている。機能を集めることで便利になると思う。(B・C・D案共通)
- 蒲郡南部小学校周辺は一方通行が多く、道幅も狭い。複合化などでさらに利用者が増え、車の交通量も増加するようであれば、通学路の確保も含め、安全面の配慮が必要である。

## 複数案に共通する議論・その他の議論

### 学区区について

- 学区区と行政区の不整合により、地域のお祭りがあっても「学校が違うから」と参加できなかつたり、通学中の児童がどの小学校に通っているか分からず困ることがあるので、地域と学区区の枠組みは同じであってほしい。
- 竹島小学校ができて数十年が経過し、竹島小学校へ通学した保護者もいて愛着も生まれているようだ。一度地域に根付いた学区区を元に戻すのは難しいだろう。
- 小学校の統合や学区区の変更については、ワークショップ参加者だけでなく直接関係のあるご家庭などの意見を聞くべきだ。
- 小学校の統合や学校規模については、地区の人口動向など未知の事柄も多く、早急に判断しないほうがよい。児童数の減少が現実的になったときに検討するのがよい。
- 学校の統合に関しては、1学年1クラスを維持できるか?や部活動を存続できるか?が目安になると思う。

### 子育てに関して

- 小学校と保育園の機能を集合するのであれば、児童の勉強の妨げにならないよう、騒音の問題などは十分に配慮してほしい。
- 保育園・小学校・児童クラブは保護者の送迎の手間を考へて、同じ敷地や近所にあるほうがよい。

### 府相保育園について

- 府相保育園は高潮浸水想定域に位置することから、安全面を考えるとできるだけ早くに移転した方がよい。

### 保育園の立地について

- 保育園は車での送迎が多く、立地よりは設備やサービスを重視して選択しているようだ。小学校跡地などある程度敷地のある場所に保育園を集約した方が、車で利用しやすく効率的でよい。

### 公民館について

- 小学校と公民館の機能を集合する方針になっているが、そもそも公民館は必要なのだろうか。利用率が低い公民館は、廃止を検討し、身近な集会所を充実させ、高齢者の利用を促すほうがよいのではないかと。

### 小江公民館について

- 小江公民館は神社前にあることから、お祭りに利用されていたり、日頃は高齢者をはじめとした地域の集いの場として利用されている。そのため、現在の場所にあることが重要である。市が公民館として維持できなくなったとしても、地元管理で集会所として現在の場所に残しておくことが望ましい。
- 現在の建物が地域活動の際に利用できるのであれば、小江公民館機能が蒲郡南部小学校に移転しても構わない。
- 小江地区は昔は蒲郡の中心だったので、地域活動が盛んで愛着も強い。お祭りや敬老会で公民館が必要だ。
- 小江公民館の譲渡については、耐震の状況や費用負担について確認したうえで、地元との協議が必要だ。

### 東部地域について

- 東部地域は蒲郡南地区(蒲郡中学校区)の中でも、一つのコミュニティ・地域として成立している。

### その他

- 複合施設を建設する際は、それぞれ集約する機能の面積を十分確保できることを確認したうえで進めてほしい。
- 施設の統合に合わせて、安全性に配慮した通学路の検討が必要だ。
- 本当の意味で施設配置の適正化を図るのならば、蒲郡中学校区と中部中学校区を含む旧蒲郡町全体で検討すべきである。



## 再配置プランを評価するための8つの視点

第3回ワークショップでは、再配置プランを評価する指標として、これまでのワークショップでのご意見をもとに整理した蒲郡南地区の皆様が大切だと思っている8つの視点を活用することを確認しました。これらの視点にもとづいて、再配置プランの評価・比較を行い、絞り込みを進めていきます。

① 地域での活動・交流の盛り上がり

⑤ 安全の確保(地域防災・利用者の安全)

② 学校教育環境の適正化

⑥ 利便性の確保

③ 子育てしやすい環境づくり

⑦ 将来負担の縮減

④ 高齢者のにぎわい

⑧ 運営の改善

皆さまのご意見をお聞かせください!!

# オープンハウスのご案内

会場：サンヨネ蒲郡店 店舗出入り口付近

実施日：平成30年12月2日(日)

時間：午前10時30分～午後3時30分

- 会場では、ワークショップでの検討内容などをパネル展示をもとに市職員が説明いたします。
- 簡単なアンケートにお答えいただき、蒲郡南地区の皆さまからご意見をいただきます。
- サンヨネ蒲郡店のほか、施設利用者を対象に地区内の3つの保育園での実施を予定しています。



昨年度の様子

## ご意見募集

ワークショップに参加している方だけでなく、地区にお住まいのたくさんの方のご意見を踏まえて「地区個別計画」の策定に向けた検討を進めていきます。

- **ワークショップで検討されている内容について**
- **蒲郡南地区のまちづくりや公共施設について**

ご意見をお待ちしています!!



将来、蒲郡南地区はどんな地域になってほしいですか。日々の生活で感じる些細なことで構いません。以下のお問い合わせ先まで、メール・ファクス・郵便・持参により、どうぞお気軽にお届けください。差し支えなければ、ご住所、お名前、年齢、性別、連絡先の記載をお願いします。

## 次回ワークショップのお知らせ

日時：12月16日(日)

午後1時30分～午後4時30分

場所：蒲郡中学校 3階 図書室

内容：再配置プランの評価・比較について

どなたでも傍聴ができます。傍聴ご希望の方は、右のお問い合わせ先までご連絡ください。

## お問い合わせ先

蒲郡市総務部財務課 公共施設マネジメント担当

〒443-8601 蒲郡市旭町17番1号

E-mail zaimu@city.gamagori.lg.jp

TEL 0533-66-1158

FAX 0533-66-1183

ワークショップについて、詳しくは市HPをご覧ください。

